

厳しい 財政状況の中 改革を 継続します

十八年度の予算は、厳しい財政状況の中、事務事業の見直しをはじめとする内部努力や、臨時的な事業の削減を徹底して行うなど、財源不足の解消に努めてきました。また、市債の発行額を大幅に削減するなど、将来への負担を少なくするよう配慮しました。

しかし、今後も、市税や地方交付税などの歳入が減少し、生活保護費などの扶助費や、国民健康保険や介護保険など他会計への繰出金などの歳出が増加することにより、十九〜二十二年度の各年度で百五十五〜三百四十一億円の財源が不足すると見込まれています。

市では、財源不足の解消のため、引き続き事業の見直しや内部努力を徹底するなど、改革を進めていきます。

131億円の経費を削減

事務事業や人件費の見直しなどの財政構造改革で、今年度131億円の経費が削減されました。17年度に行った見直し分と合わせ273億円の効果となります。

事務事業の見直し

- ・ 公共施設の光熱費などの節約
- ・ 事務的経費の削減

32
億円

人件費の見直し

- ・ 委託化などによる職員削減
- ・ 給与の引き下げ

20
億円

事業の選択と集中

- ・ 公共事業などを縮小し、「子育て」「都市再生」「市民自治」への重点的な配分

47
億円

財産・基金の有効活用

- ・ 利用が見込めない土地の売却

5
億円

その他

- ・ 企業会計繰出金の見直し
- ・ 使用料、手数料の見直し
- ・ 道路、公園の維持管理の見直し

26
億円

指定管理者制度を導入

市民サービスの向上と経費の節減を目指し、公共施設の管理・運営を民間事業者やNPO法人などの団体でも担うことができる指定管理者制度を本格的に導入します。制度やサービス内容など詳しくは、今月のニュース(11頁)をご覧ください。

15億円を節減

体育館や公園など365施設で、今年度1年間で約15億4千万円、今後4年間で約65億円の節減効果があります。

【詳細】 市政推進室 ☎211-2061

「さっぽろのおサイフ」 「財政の概要」を発行



市の財政状況を分かりやすくまとめた「さっぽろのおサイフ」と、予算の仕組みや18年度予算の内容などを詳しくまとめた「財政の概要」を発行しています。ぜひ、ご覧ください。

配布場所

区役所、市役所2階市政刊行物コーナー

予算編成に皆さんの意見を 反映させています

市では毎年、予算編成の過程を市民の皆さんに公開し、ご意見をいただいています。例年11月下旬に、予算の基となる各局からの要求内容(事業や金額など)を、区役所やまちづくりセンターで閲覧できるほか、ホームページを公開しています。

ホームページ 「札幌市の財政」

www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo

市職員 5年間で850人削減

17年4月1日から22年4月1日までの5年間で、職員の数850人(5.5%)削減します。地下鉄駅の業務や学校給食の調理業務の民間委託のほか、出資団体への派遣見直しなどにより、目標の達成を目指します。

なお、市役所職員の数17年4月1日現在で15,596人です。

【詳細】 人事課 ☎211-2072